

企 画 財 政 課

【総括】

人口減少・超少子高齢社会に対応する地域共生社会の実現に向け、市民の幸福実感の向上や海洋資源を活用した産業振興を図るため、その具体的手段として地方創生推進交付金を活用した事業の発展的継続及び地方創生拠点整備交付金を活用した新しい取り組みがスタートした年となりました。

地方からの若者世代の流出と東京を中心とした首都圏への人口集中は、深刻な日本の社会問題であり、その是正策の一つである移住・定住施策では、これまで一方的に流出していく人の流れから、都市部から鳥羽市への人の流れを創出し、着実な成果を残しています。鳥羽市は、移住・定住施策のトップランナーとして、平成28年1月から取り組みを開始し、平成31年3月末で68世帯151人の移住を達成しています。移住・定住施策の取り組み開始以降、地域おこし協力隊を含め、鳥羽市への移住者が地域で活躍する様子や、移住者の受け入れにより地域コミュニティが活性化する様子が知られるようになり、移住者の受け入れに対する機運も地域で徐々に高まっています。

離島振興事業では、国土交通省の離島活性化交付金を活用した寝屋子留学や観光交流事業、新防災無線設計等、各課における事業の取りまとめ及び調整を行うとともに、海と人をつなぐ漁村文化継承交流促進事業を実施し、離島への交流人口の増加や防災機能の強化を図りました。

鳥羽市で開催された国際特別都市建設連盟首長会議では、世界的に大きな問題となっている海洋プラスチックの現状等について意見交換を行い、海洋プラスチックごみ対策及び海岸漂着物等の実態把握及び発生源対策について、国として対策を講じるよう要望を行いました。

ふるさと納税においては、新たな返礼品や体験型メニューの充実に努めたものの、真珠製品の取り扱いに制限があり、ふるさと納税の寄附件数・寄附金額とも大幅な減少となりましたが、新たなチャレンジとして、海女文化を世界に誇る貴重な地域資源と位置づけ、海女が将来にわたり操業できるようガバメントクラウドファンディングを実施しました。

引き続き、鳥羽ファンの獲得と財源の確保に向け、創意工夫を凝らした取り組みが必要です。

財政運営については、平成31年度当初予算編成方針策定による財政フレームの結果、主にふるさと納税の減収による財源不足が見込まれたことから、経常経費、政策経費、補助金のシーリングを実施し財政調整基金の取崩しを最小限に抑えました。

【新たな取り組み】

鳥羽市の魅力である真珠を“月”に見立てた「月と島」全国写真コンクールを開催し、全国から応募のあった月と島が写る幻想的な写真により、離島の持つ魅力を発信しました。

市内で唯一の県立高校である鳥羽高等学校の活性化を支援することを目的に、「鳥羽高校魅力アップセミナー」を開催しました。また、知事と市長の1対1対談においても高校と行政、地域との橋渡し役となるコーディネーターの必要性を知事に要望したところ、県教育委員会においても予算付けされるなど、令和元年度への新たな取り組みへと結びつけることができました。

鳥羽市民が生涯いきいきと活躍できるまちづくりを目指した「働く」をテーマとした“とばびと活躍プロジェクト”では、宿泊産業を中心とした鳥羽市就業実態・意識に関する調査結果をもとに、雇用対策、教育、子育て支援、魅力あるコミュニティの形成等、様々な視点から構成する3カ年計画である“とばびと活躍プロジェクトアクションプラン”を策定しました。地域共生社会を実現する手段として、確実に事業を進めるため、アクションプランの進捗管理や評価見直しを行っていきます。

第5次鳥羽市総合計画、鳥羽市まち・ひと・しごと創生総合戦略を確実に進めるとともに、3カ年計画としてスタートした財政健全化に向けた集中取組により、持続可能な行財政運営に努めます。

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 1 一般管理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
7,290	7,068					6	7,062

事業区分		1 総務給与等管理費	7,015 千円	事項別明細書 P 50 ~
		給与等管理業務	予算現額	1,940 千円
			決算額	1,768 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】	効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	2,048 千円
<p>ふるさと納税業務支援及び庶務補助のために臨時職員を配置し、臨時庸人賃金などを支出しました。</p> <p>○主な経費 臨時傭人賃金 1,500 千円</p>				
		企画一般管理経費	予算現額	2,900 千円
			決算額	2,898 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】	効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	2,300 千円
<p>政策決定に必要な会議の開催、資料の作成とともに、地域振興全般の調整にかかる諸業務を迅速かつ円滑に進めるため、時間外勤務手当を支出しました。</p> <p>○主な経費 時間外勤務手当 2,898 千円</p>				
		財政一般管理経費	予算現額	2,350 千円
			決算額	2,349 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】	効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	2,298 千円
<p>効率的かつ健全な財政運営を図るための当初予算編成及び補正予算編成を行うほか、決算に関する事務や財務書類作成などを円滑に進めるため、時間外勤務手当を支出しました。</p> <p>○主な経費 時間外勤務手当 2,349 千円</p>				

事業区分		7 行政改革推進事業	53 千円	事項別明細書 P 52 ~
		行政改革推進業務	予算現額	100 千円
			決算額	53 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】	効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	41 千円

行政改革推進業務

人口減少や少子高齢化、地方創生や地方分権への対応など行政需要の多様化が進展している。経費の削減、行政事務の効率化等についての強固な取組みや職員定数管理や業務の改善、職員研修の充実など組織力の向上に資する取組みを進めるため、前プランの方向性を継続しつつ集中的な取組みとして鳥羽市行政改革プラン推進のため、各取組み計画を取りまとめました。

○主な経費	時間外勤務手当	40 千円
	消耗品費	7 千円
	コピー借上料及び使用料	6 千円

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 3 財政管理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
5,732	4,717						4,717

事業区分

1 財政事務経費

4,717 千円 事項別明細書 P 54 ~

予算編成及び執行管理等業務	予算現額	5,732 千円
	決算額	4,717 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 6,008 千円

平成31年度（令和元年度）当初予算編成のほか、国・県等の補助事業採択や緊急を要する事業への対応に加え、「地方創生拠点整備交付金」を活用した事業などの補正予算を編成しました。また、平成29年度決算に基づく公会計業務においては、作成支援業務を委託して統一的な基準で作成を行い、年度間や他市との比較を行うなど分析・公表を実施しました。

○主な経費

電算委託料	財務会計システム保守業務	1,157 千円
委託料	財務書類作成支援コンサルティング等業務（作成支援）	2,160 千円
使用料	財務会計システム賃貸借	193 千円
	財務書類作成支援コンサルティング等業務（システム賃貸借）	518 千円

予算編成及び執行管理等業務

<歳入歳出予算>

本年度における一般会計及び各特別会計の予算額及び議決の状況は、下記のとおりです。

(単位：千円)

区 分	当初予算額	補正予算額		
		6月補正 (第1号)	7月補正 (第2号)	
		30. 3. 27議決	30. 6. 26議決	30. 7. 17議決
一 般 会 計	10,900,000	① 33,000	② 109,340	
特別会計	国民健康保険事業	2,859,500		
	介護保険事業	2,681,800		
	定期航路事業	609,800		
	特定環境保全公共下水道事業	148,800		
	後期高齢者医療	518,100		
	小 計	6,818,000	0	0
合 計	17,718,000	33,000	109,340	

区 分	補正予算額					
	9月補正 (第3号)	9月補正 (第4号)	12月補正 (第5号)	3月補正 (第6号)	3月補正 (第7号等)	
	30. 9. 4議決	30. 10. 2議決	30. 12. 21議決	31. 3. 27議決	31. 3. 27議決	
一 般	③ 19,567	④ 280,983	⑤ 94,910	⑥ △ 44,000	⑦ 932,550	
特別会計	国 保	① 4,829		② △ 986	③ 68,451	
	介 護			① 47,173	② 30,757	
	定 期			① 14,132	② △ 15,630	
	下 水 道	① 11,620		② 51		
	後 期			① △ 1,225		
	小 計	16,449	0	59,145	83,578	0
合 計	36,016	280,983	154,055	39,578	932,550	

区 分	繰越明許費 繰越額	予算総額
一 般	148,980	12,475,330
特別会計	国 保	2,931,794
	介 護	2,759,730
	定 期	608,302
	下 水 道	160,471
	後 期	516,875
	小 計	6,977,172
合 計	148,980	19,452,502

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 5 財産管理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
359,800	240,101					175,902	64,199

事業区分		3 基金積立金	240,101 千円	事項別明細書 P 56 ~
積立金 (基金)	予算現額	359,800 千円		
	決算額	240,101 千円		
	翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	680,742 千円	
<p>ふるさと納税制度による寄附金をふるさと創生基金へ積み立てたほか、地方財政法第7条の規定に基づく平成29年度決算剰余金の処分について、剰余金の2分の1を財政調整基金へ積み立てました。</p>				
○主な経費				
基金積立金				
ふるさと創生基金 180,301 千円				
財政調整基金 59,800 千円				
○主な財源				
寄附金 ふるさと納税寄附金 175,902 千円				

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 6 企画費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
17,726	17,010						17,010

事業区分		1 企画調整事業	7,868 千円	事項別明細書 P 58 ~
総合計画推進事業	予算現額	128 千円		
	決算額	75 千円		
	翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	433 千円	
<p>第五次鳥羽市総合計画の着実な推進のため、3カ年の実施計画及び大規模ハード整備事業の改訂を行ったほか、平成28年度に設定した鳥羽市まち・ひと・しごと創生総合戦略にかかるKPI等(重要業績評価指標)の評価検証を総合計画審議会において実施しました。</p>				

総合計画推進事業		
○主な経費 コピー借上料及び使用料 60 千円		
政策推進・調整事業	予算現額	7,393 千円
	決算額	7,205 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 6,135 千円
<p>庁内の課を超えて横断的に取り組む事業の調整や特命事項への対応を行いました。また、地方創生推進交付金を活用して「とばびと活躍プロジェクト」として、市民の働き方に関する鳥羽市宿泊産業等実態調査を行い、鳥羽で暮らす人々が「働く」を通じて、いきいきと活躍する社会を目指して、3つの施策及び20のアクションで構成される“とばびと活躍プロジェクト・アクションプラン”を策定しました。</p> <p>○主な経費</p> <p>普通旅費 538 千円</p> <p>計画及び策定委託料 鳥羽市宿泊産業等実態調査 6,241 千円</p> <p>会費等負担金</p> <p>伊勢志摩ナンバー図柄選定事業負担金 84 千円</p> <p>研修負担金 25 千円</p>		
施策評価業務	予算現額	839 千円
	決算額	588 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 0 千円
<p>平成28年度からの第5次後期基本計画を着実に推進するため、総合計画審議会を開催し、平成28年度から平成32年度の前期における施策評価として、重点施策を中心に17施策の進捗確認を行いました。</p> <p>また、第5次後期基本計画の進捗について、めざすまちの姿にどの程度近づいているか総合的に確認をするため、施策目標の重要度や満足度について市民アンケートを実施し、取りまとめました。</p> <p>○主な経費</p> <p>委員報酬 263 千円</p> <p>通信運搬費 233 千円</p> <p>コピー借上料及び使用料 50 千円</p>		

事業区分	2 地域連携事業		9,054 千円	事項別明細書 P 58 ~
	友好協力協定推進事業	予算現額	300 千円	
		決算額	300 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	300 千円	
<p>大学などの研究成果や新技術の橋渡し機関である三重TLOへ会費を支出したほか、皇学館大学や鳥羽商船高等専門学校等との連携を図りました。</p>				

友好協力協定推進事業

また、2021年三重とこわか国体を契機として、市内で整備している施設を活用しスポーツへの関心を高めるとともに、市民の健康増進を図るため、教育資源や人的資源を有している日本体育大学と「体育・スポーツ振興に関する協定」を締結しました。

○主な経費

会費等負担金 三重TLO特別会員年会費 300 千円

国際特別都市建設促進事業

予算現額	324 千円
決算額	200 千円
翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標 5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう

(前年度決算額)	275 千円
----------	--------

平成30年度国際特別都市建設連盟首長会議が本市で開催され、海洋プラスチック問題について情報交換を行い、海洋プラスチック問題についての追加要望を行いました。

加盟都市の共通課題を解決するため、海洋プラスチック問題の要望を加えた「歴史・文化を活かしたまちづくりの推進に関する要望」、「国際観光文化都市の整備等に関する要望」「大規模災害に備えるための防災・減災対策に関する要望」の3事項を要望事項とし、関係省庁等への要望活動を実施しました。

○主な経費

普通旅費 30 千円
 会費等負担金 国際特別都市建設連盟負担金 150 千円
 国際特別都市建設連盟負担金会議負担金 20 千円

三重県鉄道網整備促進事業

予算現額	8,586 千円
決算額	8,554 千円
翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標 3-3【生活環境】鳥羽の風土にあった暮らしを上げよう

(前年度決算額)	8,554 千円
----------	----------

旧国鉄在来線の電化等、沿線市町の活性化を図る三重県鉄道網整備促進期成同盟会及び、県内へのリニア中央新幹線の停車駅の設置を目指すリニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会に加盟し、三重県・加盟市町とともに要望活動やPR活動を行いました。

また、県内交通体系全体に影響を及ぼす伊勢鉄道の安定的な経営のため、県と関係市町で施設設備に係る投資的経費を負担し支援しました。

○主な経費

負担金及び補助金
 三重県地域交通体系整備基金市町負担金 8,500 千円
 リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会分担金 44 千円
 三重県鉄道網整備促進期成同盟会分担金 10 千円

事業区分		3 友好都市提携事業		88 千円 事項別明細書 P 58 ~	
友好都市提携事業		予算現額	156 千円		
		決算額	88 千円		
		翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	60 千円		
友好都市提携事業					
<p>九鬼氏を中心とした歴史・文化において、本市と深い繋がりがあることから友好都市協定を結んでいる兵庫県三田市との交流窓口として、両市の関係部署で構成する「友好都市交流推進協議会」を開催し、より一層の交流を図るため、両市で開催する各種交流事業の調整を行いました。</p> <p>○主な経費</p> <p>旅費 16 千円</p> <p>コピー借上料及び使用料 40 千円</p>					

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(目) 14 地域振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
216,595	134,459	673			2,000	25	131,761

事業区分		1 離島振興事業		4,849 千円 事項別明細書 P 66 ~	
離島振興事業		予算現額	2,885 千円		
		決算額	2,849 千円		
		翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	1,766 千円		
<p>離島地域の振興のため、全国離島振興三重県支部連絡協議会及び鳥羽協議会と連携し、鳥羽市を会場に全国離島振興協議会通常総会を開催したほか、アイランダーへの出展、離島活性化交付金の活用検討を行いました。</p> <p>また、各漁業集落に残る特徴ある文化や歴史を継承し、活用することで交流人口増加を目指すため、神島・答志・和具・桃取・坂手・菅島においてそれぞれ地域ヒアリングを実施し、ヒアリング結果をまとめるとともに、市立海の博物館において企画展神島 (H30.12.1~H31.2.17) を開催しました。</p> <p>○主な経費</p> <p>委託料 海と人をつなぐ漁村文化継承交流促進事業 1,290 千円</p> <p>補助金 全国離島振興鳥羽協議会補助金 1,184 千円</p> <p>全国離島振興協議会通常総会補助金 200 千円</p> <p>○主な財源</p> <p>国庫補助金 離島活性化交付金 673 千円</p>					
離島甲子園参加事業		予算現額	2,000 千円		
		決算額	2,000 千円		
		翌年度繰越額	0 千円		
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	2,000 千円		

離島甲子園参加事業

鹿児島県南種子町で開催された「第11回全国離島交流中学生野球大会」に参加する鳥羽選抜チーム（答志中学校野球部及び鳥羽東中学校野球部の離島在住者）を支援しました。

野球の試合を通じた島と島との交流によって、中学生の夢づくり人づくりに寄与し、離島地域の活性化を図るとともに、郷土愛を育む良い機会となりました。

○主な経費

会費等負担金 第11回全国離島交流中学生野球大会参加自治体負担金 2,000 千円

○主な財源

繰入金 ふるさと創生基金繰入金 2,000 千円

事業区分

2 地域振興事業

82,480 千円 事項別明細書 P 66 ~

ふるさと納税推進事業	予算現額	151,605 千円
	決算額	81,331 千円
	翌年度繰越額	0 千円

まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	299,968 千円
----------	------------------------------	----------	------------

ふるさと納税事務の効率化を図り、受付事務や特産品の発送、更なるPRを行うために鳥羽市観光協会に業務委託を行い、県内外へ「地域」「ひと」「もの」の魅力発信の促進及び強化に取り組みました。

平成30年9月にふるさと納税返礼品の全面リニューアルを実施し、新たな商品及び体験メニューを約40種類追加するなど寄附金の増加に努めました。しかしながら、平成29年4月の総務大臣通知を受け真珠製品の取り扱いを平成29年12月より中止したことから、ふるさと納税の件数、額ともに大きく下がる結果となりました。

また、海女文化を活かし活性化を目指した事業の中で、海女の情報発信基地の推進として、「海女文化をPRする場」「海女文化を学ぶ場」等を充実させるため、海女文化を未来に残す取り組みとしてガバメントクラウドファンディングを実施し、685千円の寄附を集め、ふるさと納税の推進を図りました。

<ふるさと納税の実績>

	件数		寄附金額	
		うち県外		うち県外
平成29年度	3,917件	2,316件	498,841千円	326,571千円
平成30年度	2,044件	1,694件	178,520千円	137,645千円
前年度対比	△1,873件	△622件	△320,321千円	△188,926千円

○主な経費

報償費 60,907 千円
 手数料 17,858 千円
 使用料 1,774 千円
 会費等負担金 ふるさと納税南部まるごと発信事業負担金 400 千円

過疎及び辺地対策事業		予算現額	287 千円
		決算額	235 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	262 千円
<p>平成22年度に過疎地域に指定されて以降、全国過疎地域自立促進連盟及び三重県ふるさと振興協議会と連携し、過疎地域の振興及び法令の延長等の要望活動に取り組み、過疎計画及び辺地計画について、事業内容の追加等に伴う計画の一部変更を行いました。</p> <p>○主な経費</p> <p>普通旅費 74 千円</p> <p>会費等負担金</p> <p>全国過疎地域自立促進連盟会費及び三重県ふるさと振興協議会会費 154 千円</p>			
真珠のふるさと振興事業		予算現額	1,841 千円
		決算額	779 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	0 千円
<p>真珠の文化的価値を再認識するとともに、古くから受け継がれてきた真珠と島の魅力を全国にPRするため、「月」を真珠と重ねた「月と島」の全国写真コンクールを開催しました。全国から173作品の応募があり、コンクールの入賞作品はHPに掲載したほか、鳥羽マリンターミナルや海の博物館、鳥羽市立図書館で展示し、情報発信を行いました。この入賞写真はアイランダー2019でも展示し、全国発信を行います。</p> <p>また、真珠養殖発祥の地として真珠の文化価値を高めるため、結婚された21組の市民の方を真珠PR隊として任命するとともに、積極的に真珠を身に付けてもらい普及を図ることを目的として真珠製品の贈呈を行いました。</p> <p>○主な経費</p> <p>報償費 636 千円</p> <p>費用弁償 62 千円</p>			
地域活性化事業		予算現額	135 千円
		決算額	135 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	0 千円
<p>県立鳥羽高等学校の活性化、魅力化を図ることを目的とした「鳥羽高校魅力アップセミナー」を開催し、外部講師を招へいた「教育の魅力化による地域の活性化」による全国各地での事例を学びました。</p> <p>○主な経費</p> <p>報償費 60 千円</p> <p>費用弁償 75 千円</p>			

地域おこし協力隊支援事業	予算現額	840 千円
	決算額	566 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 253 千円
<p>都市部から移住し、地域活性化等の業務に従事する地域おこし協力隊事業を推進するため、都市部で開催される説明会や移住相談会等に参加し、積極的に隊員の募集を行いました。結果、石鏡町活性化担当、国崎町活性化担当の募集を行いました。全国的な希望者の減少傾向もあり応募者を獲得することができませんでした。</p> <p>○主な経費</p> <p>旅費 453千円</p> <p>コピー借上料及び使用料 76千円</p>		
地域おこし協力隊事業（石鏡町）	予算現額	2,733 千円
	決算額	2,340 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 0 千円
<p>平成30年7月に千葉県船橋市から移住した上田茉莉子氏が着任し、石鏡町内会と連携しながら、海女、海藻等の文化的価値やまちの暮らしの魅力を発掘する活動を行いました。</p> <p>具体的には、まちに伝わる食文化の継承・発信を目的に海女料理教室を2回開催したほか、石鏡の海女さんを象徴するロゴマーク、大漁旗を使った包装紙を制作し、ノベルティや広告物に活用するなど、まちのブランディングにも努めました。</p> <p>○主な経費</p> <p>報償費 1,496千円</p> <p>印刷製本費 97千円</p> <p>家賃及び共益費 225千円</p>		
地域おこし協力隊事業（答志島）	予算現額	3,214 千円
	決算額	2,698 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 3,103 千円
<p>平成29年度から2年目の継続として、埼玉県春日部市から移住した五十嵐ちひろ氏が、答志町内会や地域団体等と連携しながら、地域の魅力情報発信等の活動を行いました。</p> <p>島の旅社推進協議会との連携活動、島の行事や文化、暮らし等の魅力をSNS等で情報発信するとともに、英語版の答志島手書きマップを作成したり、地域交流イベント「島女子会in答志島」の企画・運営を行いました。</p> <p>○主な経費</p> <p>報償費 1,992千円</p> <p>費用弁償 202千円</p> <p>家賃及び共益費 360千円</p>		

地域おこし協力隊事業（鳥羽なかまち）		予算現額	3,015 千円						
		決算額	2,718 千円						
		翌年度繰越額	0 千円						
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	2,264 千円						
<p>平成29年度から2年目の継続として、東京都あきる野市から移住した佐藤創氏が、鳥羽なかまち会と連携しながら、自身の動画制作等のスキルを活かし、まちの資源や暮らしの魅力を情報発信する活動を行いました。</p> <p>平成30年度は、イベント開催等のCMやまちの見どころを紹介するショートムービーの制作、移住・定住促進事業等における各種広告物の制作を行いました。</p> <p>○主な経費</p> <table border="0"> <tr> <td>報償費</td> <td>1,992千円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>129千円</td> </tr> <tr> <td>補助金（家賃補助）</td> <td>528千円</td> </tr> </table>				報償費	1,992千円	消耗品費	129千円	補助金（家賃補助）	528千円
報償費	1,992千円								
消耗品費	129千円								
補助金（家賃補助）	528千円								

事業区分	5 移住・定住促進事業		38,808 千円	事項別明細書 P 68 ~																													
	鳥羽への移住・定住応援事業		予算現額	37,472 千円																													
			決算額	29,276 千円																													
			翌年度繰越額	0 千円																													
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額)	39,058 千円																														
<p>移住相談会へ積極的に参加し、移住希望者と対面しながら鳥羽での暮らしの魅力を紹介するとともに、田舎暮らしを希望する多くの移住希望者にとって本市の移住が一つの選択肢になることを伝えるため、移住情報誌やWebサイトなど、ターゲットに応じた様々な角度からの情報発信にも取り組みました。</p> <p>また、定住促進策の一環として、「住んでいて良かった」をテーマに、広報とばや行政放送における移住者紹介、地域情報誌、近鉄名古屋線車内広告を使った情報発信及び、本市で住宅を取得する若者世帯に最大100万円の奨励金を交付しました。</p> <p>○主な経費</p> <table border="0"> <tr> <td>普通旅費</td> <td>567千円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>とばぐらし魅力発信パンフレット刷新及び印刷業務</td> <td>225千円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>移住・定住促進情報発信業務（広告掲載）</td> <td>4,104千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>TOBAで求める移住者像と地域の魅力プロモーション</td> <td>974千円</td> </tr> <tr> <td>会費等負担金</td> <td>NP0ふるさと回帰支援センター団体正会員</td> <td>50千円</td> </tr> <tr> <td>負担金及び補助金</td> <td>定住応援事業奨励金</td> <td>23,000千円</td> </tr> </table> <p>○主な財源</p> <table border="0"> <tr> <td>国庫補助金</td> <td>地方創生推進交付金</td> <td>2,829千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>離島活性化交付金</td> <td>264千円</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>ふるさと創生基金繰入金</td> <td>10,353千円</td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td>過疎地域自立促進特別事業債</td> <td>13,000千円</td> </tr> </table>					普通旅費	567千円	印刷製本費	とばぐらし魅力発信パンフレット刷新及び印刷業務	225千円	委託料	移住・定住促進情報発信業務（広告掲載）	4,104千円		TOBAで求める移住者像と地域の魅力プロモーション	974千円	会費等負担金	NP0ふるさと回帰支援センター団体正会員	50千円	負担金及び補助金	定住応援事業奨励金	23,000千円	国庫補助金	地方創生推進交付金	2,829千円		離島活性化交付金	264千円	繰入金	ふるさと創生基金繰入金	10,353千円	市債	過疎地域自立促進特別事業債	13,000千円
普通旅費	567千円																																
印刷製本費	とばぐらし魅力発信パンフレット刷新及び印刷業務	225千円																															
委託料	移住・定住促進情報発信業務（広告掲載）	4,104千円																															
	TOBAで求める移住者像と地域の魅力プロモーション	974千円																															
会費等負担金	NP0ふるさと回帰支援センター団体正会員	50千円																															
負担金及び補助金	定住応援事業奨励金	23,000千円																															
国庫補助金	地方創生推進交付金	2,829千円																															
	離島活性化交付金	264千円																															
繰入金	ふるさと創生基金繰入金	10,353千円																															
市債	過疎地域自立促進特別事業債	13,000千円																															

鳥羽への移住・定住応援事業

＜奨励金の実績＞

住宅取得区分	交付額	件数	計
新築住宅を取得した場合	1,000千円	20件	20,000千円
中古住宅を取得した場合	500千円	6件	3,000千円
合計		26件	23,000千円

移住相談支援事業

	予算現額	7,642千円
	決算額	7,236千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 3,836千円

移住・定住相談窓口での相談業務や鳥羽を訪れた際の現地案内、「仕事」「住まい」「子育て」など、個々の移住希望者の要望に応じて資料にまとめワンストップで情報提供するなど、きめ細やかな相談支援に努めました。

また、移住相談等を専属に行う移住コーディネーターを1名配置し、地域での受入れ支援に努める定住支援員を3名委嘱するなど、移住希望者の受入れ環境の充実にも努めました。

○主な経費

臨時職員人件費	2,189千円	※臨時職員1名
報償費	3,795千円	※定住支援員3名、移住コーディネーター1名等
印刷製本費	493千円	※ノベルティ用ステッカー、カレンダー制作等

○主な財源

国庫補助金 地方創生推進交付金	1,449千円
-----------------	---------

移住・交流ビジネス創造事業

	予算現額	1,350千円
	決算額	1,000千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 982千円

行政と移住希望者を積極的に受け入れる地域団体等が連携しながら、ビジネス的な手法を用いて都市住民を含めた地域外住民や住民同士の交流の機会を創出する事業に対して補助金を交付しました。

平成30年度は、寝屋子の島留学実施委員会が答志町内にある空き家を借上げ整備改修を行い、寝屋子の島留学制度を利用した留学生及び移住希望者等に貸出す空き家のサブリース（転貸）事業を開始し、移住・交流を推進する持続的な環境整備を行いました。

○主な経費

負担金及び補助金 移住・交流ビジネス創造事業費補助金	1,000千円
----------------------------	---------

○主な財源

国庫補助金 地方創生推進交付金	500千円
-----------------	-------

地方と都市との出逢い創出事業

	予算現額	1,576千円
	決算額	1,296千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-2【結婚・子育て】家族や恋人との愛を育てよう	(前年度決算額) 868千円

地方と都市との出会い創出事業

都市部において都市住民と地域住民との交流会を開催し、地域住民を通じて鳥羽の魅力を直接伝え、その後市内で開催する地域イベントや体験ツアーへの参加を促しました。

平成30年度は、県南部地域の市町と広域連携した交流会や、移住・定住に意欲的な地域住民が主体になった交流会を開催しました。また、事業実施に意欲的な地域団体等に対して補助金を交付し、地域主体・行政連携の関係性を構築しながら体験ツアーや地域イベントを開催しました。

○事業概要

≪都市部交流会≫

みえ女子トークカフェ（東京、大阪、名古屋）、出張！鳥羽なかまちマーケット（東京）
鳥羽なかまち商い創りセミナー（東京）、出張！島女子会（大阪） ※計6回開催

≪地域イベント等≫

桃ドキ！Summer Party、島女子会in答志島、鳥羽なかまち地域密着型ビジネスお試しツアー

○主な経費

旅費	521千円
広告料	214千円
負担金及び補助金 地方と都市との出逢い創出事業費補助金	274千円

○主な財源

国庫補助金 地方創生推進交付金	583千円
繰入金 ふるさと創生基金繰入金	130千円

(款) 2 総務費

(項) 5 統計調査費

(目) 1 統計調査総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
3,858	3,806		8				3,798

事業区分

1 統計調査給与等管理費

3,806 千円 事項別明細書 P 82 ~

統計調査管理業務	予算現額	3,858 千円
	決算額	3,806 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額) 3,666 千円

各種統計調査等にかかる事務処理を行い、統計調査事務を円滑に実施しました。
また、国から公表された統計調査の結果や、各課及び関係機関から収集したデータをまとめ、広く活用できるようホームページなどで公表しました。

○主な経費 人件費 3,798 千円

○主な財源

県支出金 県統計調査員確保対策事業交付金 8 千円

(款) 2 総務費

(項) 5 統計調査費

(目) 2 基幹統計調査費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
6,386	5,031		5,031				0

事業区分		1 基幹統計調査事業	5,031 千円	事項別明細書 P 82 ~																																	
基幹統計調査事業			予算現額	6,386 千円																																	
			決算額	5,031 千円																																	
			翌年度繰越額	0 千円																																	
まちづくりの目標	5-2【行政経営】 効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)	777 千円																																		
<p>国が実施する以下の基幹統計調査を行いました。</p> <p>【経済センサス調査区設定】 経済センサスの調査区について確認作業を実施しました。</p> <p>【経済センサスー基礎準備事務】 次年度に実施する経済センサス-基礎調査を円滑に実施するため、準備を行いました。</p> <p>【農林業センサスー準備事務】 次年度に実施する農林業センサスを円滑に実施するため、準備を行いました。</p> <p>【住宅・土地統計調査】 期日：平成30年10月1日、5年毎 住生活関連諸施策の基礎資料を得るため、住宅等並びに居住世帯の実態を調査しました。</p> <p>【学校基本調査】 期日：平成30年5月1日、毎年 学校教育行政上の基礎資料を得るため、学校に関する基本的事項を調査しました。</p> <p>【漁業センサス】 期日：平成30年11月1日、5年毎 漁業の生産構造、就業構造を明らかにし、漁村、水産物流通・加工業などの漁業をとりまく実態と変化を総合的に把握するため、漁業の操業状況などを調査しました。</p> <p>【工業統計調査】 期日：平成30年6月1日、毎年 行政政策のための基礎資料を得るため、製造業の調査を行いました。</p> <p>○主な経費</p> <table border="0"> <tr> <td>報酬</td> <td>統計調査員報酬</td> <td>4,359 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>時間外勤務手当</td> <td>115 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>消耗品費</td> <td>237 千円</td> </tr> </table> <p>○主な財源</p> <table border="0"> <tr> <td>県支出金</td> <td>経済センサス-基礎準備事務市町交付金</td> <td>21 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>経済センサス調査区設定事務市町交付金</td> <td>11 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工業統計調査市町交付金</td> <td>163 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>漁業センサス事務市町交付金</td> <td>2,719 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>学校基本調査市町交付金</td> <td>7 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>住宅・土地統計調査市町交付金</td> <td>2,106 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>農林業センサス事務市町交付金</td> <td>3 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>県統計調査員確保対策事業交付金</td> <td>7 千円</td> </tr> </table>					報酬	統計調査員報酬	4,359 千円		時間外勤務手当	115 千円		消耗品費	237 千円	県支出金	経済センサス-基礎準備事務市町交付金	21 千円		経済センサス調査区設定事務市町交付金	11 千円		工業統計調査市町交付金	163 千円		漁業センサス事務市町交付金	2,719 千円		学校基本調査市町交付金	7 千円		住宅・土地統計調査市町交付金	2,106 千円		農林業センサス事務市町交付金	3 千円		県統計調査員確保対策事業交付金	7 千円
報酬	統計調査員報酬	4,359 千円																																			
	時間外勤務手当	115 千円																																			
	消耗品費	237 千円																																			
県支出金	経済センサス-基礎準備事務市町交付金	21 千円																																			
	経済センサス調査区設定事務市町交付金	11 千円																																			
	工業統計調査市町交付金	163 千円																																			
	漁業センサス事務市町交付金	2,719 千円																																			
	学校基本調査市町交付金	7 千円																																			
	住宅・土地統計調査市町交付金	2,106 千円																																			
	農林業センサス事務市町交付金	3 千円																																			
	県統計調査員確保対策事業交付金	7 千円																																			

(款) 2 総務費

(項) 5 統計調査費

(目) 3 県統計調査費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
60	58		58				0

事業区分	1 県統計調査事業	58 千円	事項別明細書	P 84 ~
県統計調査事業		予算現額		60 千円
		決算額		58 千円
		翌年度繰越額		0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)		58 千円
本市の人口に関する資料を三重県に毎月報告し、県が作成する人口推移、年齢別人口の推計資料等の情報提供を受け、行政運営の基礎資料としました。				
○主な経費				
消耗品費				20 千円
通信運搬費				18 千円
コピー借上料及び使用料				20 千円
○主な財源				
県支出金		県人口推計調査交付金		58 千円

(款) 11 公債費

(項) 1 公債費

(目) 1 元金

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,287,438	1,287,438	4,187			1,204	30,312	1,251,735

事業区分	1 長期債償還元金	1,287,438 千円	事項別明細書	P 192 ~
長期債償還元金		予算現額		1,287,438 千円
		決算額		1,287,438 千円
		翌年度繰越額		0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう	(前年度決算額)		1,269,775 千円
長期借入金の償還元金を支出しました。償還元金の財源として、社会資本整備総合交付金、市営住宅使用料及び観光振興基金を活用しました。				

(款) 11 公債費

(項) 1 公債費

(目) 2 利子

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
78,533	78,533				37	1,736	76,760

事業区分		1 長期債償還利子		78,533 千円 事項別明細書 P 192 ~	
長期債償還利子		予算現額			78,533 千円
		決算額			78,533 千円
		翌年度繰越額			0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう			(前年度決算額)	93,577 千円
長期借入金の償還利子を支出しました。償還利子の財源として、市営住宅使用料、観光振興基金を活用しました。					

(款) 12 諸支出金

(項) 1 公営企業費

(目) 1 交通事業費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
134,483	110,468				19,376		91,092

事業区分		1 定期航路事業特別会計繰出金		110,468 千円 事項別明細書 P 192 ~	
定期航路事業特別会計繰出金		予算現額			134,483 千円
		決算額			110,468 千円
		翌年度繰越額			0 千円
まちづくりの目標	5-2【行政経営】効率的で心のこもった行政経営を進めよう			(前年度決算額)	129,553 千円
定期航路事業の単年度における赤字分に対し、一般会計から繰出しを行い、離島住民の生活の安定と利便性向上のため、重要な交通手段である定期航路事業の運営を確保しました。					
○主な経費					
		繰出金			110,468 千円